

## 国際地域イノベーター人材養成プログラム 科目概要

## ② ダイバーシティコミュニティ論

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター

副センター長 佐藤 香織

2021年度から新設された「ダイバーシティコミュニティ論Ⅰ，Ⅱ」は、「国プロ」の「共通科目」であり、国プロ履修生の必修科目である。本稿ではこの科目の概要について述べる。

本科目の到達目標の1つ目は、「国プロ専攻科目に進むうえで必要とされる多様性の概念を各分野からアプローチすることによって、理解を深める」ことである。本科目では、函館校を中心とする複数の教員が、それぞれの専門分野から多様性についての講義を行う。なぜ多様性を大切にしなければならないのか、それが地域にイノベーションを起こすこととどう関わるのか、ということについて、受講生が考えを深められるような構成となっている。具体的なスケジュールと授業内容を表1で示す。

表1 2022年度「ダイバーシティコミュニティ論Ⅰ，Ⅱ」授業内容とスケジュール

	担当教員	授業内容
10月 7日	五十嵐 靖夫 佐藤 香織	「ダイバーシティコミュニティ論Ⅰ」のガイダンス
10月14日	五十嵐 靖夫	発達障害とニューロダイバーシティ
10月21日	木村 育恵	ジェンダー視点の主流化の重要性
10月28日	齋藤 暢一朗（札幌校）	不登校とひきこもり：その重なりと違いから考える地域支援の可能性
11月 4日	森谷 康文	多文化共生の欺瞞・消費されるダイバーシティ
11月11日	古地 順一郎	多様性に配慮した公共政策
11月18日	尹 鈺喜	北朝鮮を離れて暮らす脱北者から多様性を考える
11月25日	佐藤 香織	グループディスカッション
12月 2日	金 鉉善	「ダイバーシティコミュニティ論Ⅱ」のガイダンス
12月 9日	石井 洋	教育の画一性から多様性へ
12月16日	西宮 宜昭	技術者から見た多様性と必要性
12月23日	有井 晴香	文化相対主義を問い直す
1月 6日	落合 絵美（岐阜大学）	移民国家シンガポールを通して考える多様性と統制
1月20日	廣畑 圭介	障害者とソーシャルインクルージョン
1月27日	金 鉉善	グループディスカッション
2月 3日	金 鉉善	まとめ

本科目の到達目標の2つ目は、「国プロにおける『ダイバーシティ』の範囲を定めて、さまざまな背景を持つ住民が住みやすい地域とはどのようなものかを導き出す」ことである。

多様性に配慮した社会とは、「全ての人にとって『やさしい』社会である」ということを受講生には常に心にとめてもらいたい。また、受講生たちは本科目を履修後、「日本語学習支援」、「地域づくり」のそれぞれの専攻に分かれ、最終的

には地域で実習を行い、さまざまな背景を持つ地域の方々から、たくさんのことを学ばせてもらうことになる。その際には、相手の立場への想像力や謙虚な姿勢が欠かせない。本科目での学びは、必ずやその際の糧になるだろう。

2022年度は、本科目を38名の1~2年生が履修した。昨年度は新型コロナウイルス対策のため、講義は基本的に遠隔授業（動画配信かZoomによる同時双方向授業）にて行ったが、今年度は、いくつかの授業を除き対面で行うことができた。11月25日のグループディスカッションでは、どのグループでも、真摯に議論する受講生の姿が見られ、本科目の内容が受講生の確かな学びと成長につながっていることを確信した。来年度もさらに充実した内容となるように努めていきたい。



授業風景